

改訂：2026 年 10 月 23 日

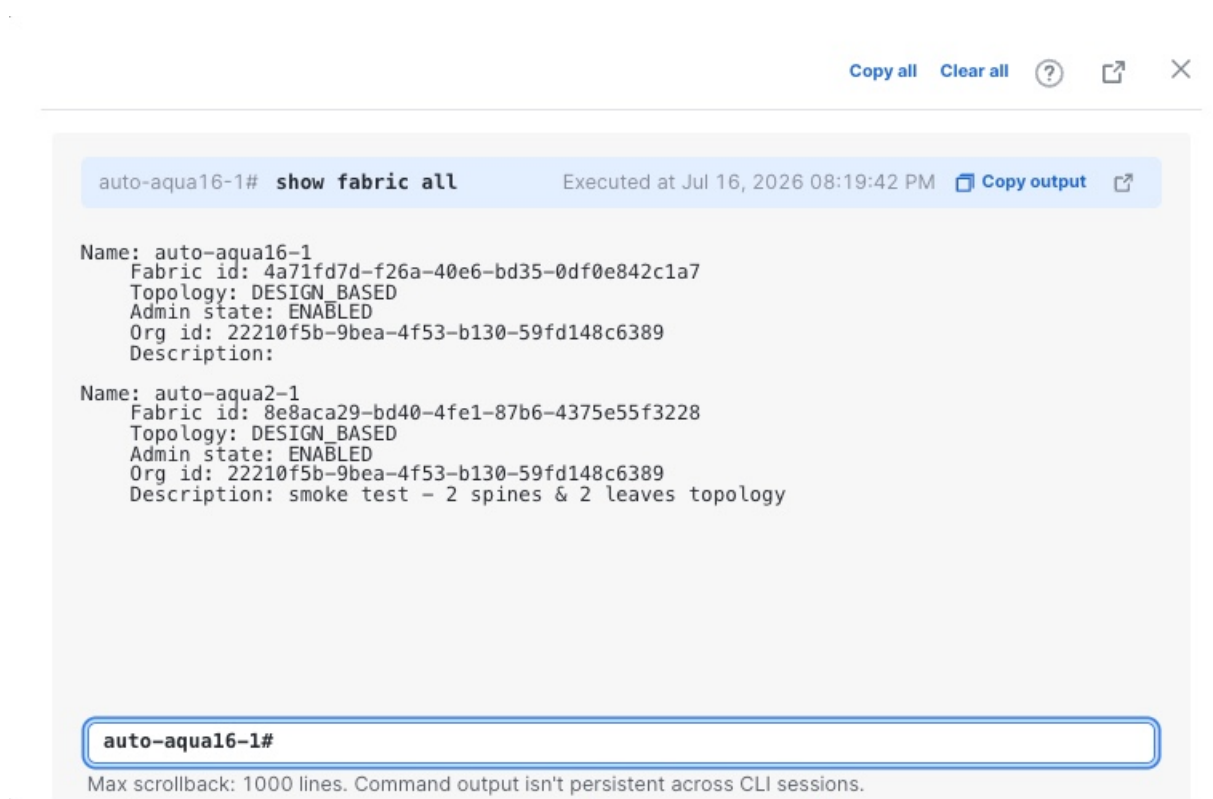
Cisco Nexus Hyperfabric：クイック コマンド CLI

クイック コマンド CLI

Nexus HyperFabricクイック コマンドは、ファブリックとそのデバイスに関する情報をすばやく表示するように設計されたシンプルなコマンドライン インターフェイス（CLI）です。グラフィカル ユーザ インターフェイスを操作しなくても、ファブリックやデバイスのデータに効率的にアクセスできます。

クイック コマンド CLI を使用すれば、[接続](#)のテスト、[スイッチ データのクリア](#)、[ファブリックまたはデバイスの詳細の表示](#)を行えます。

図 1:クイック コマンド CLI

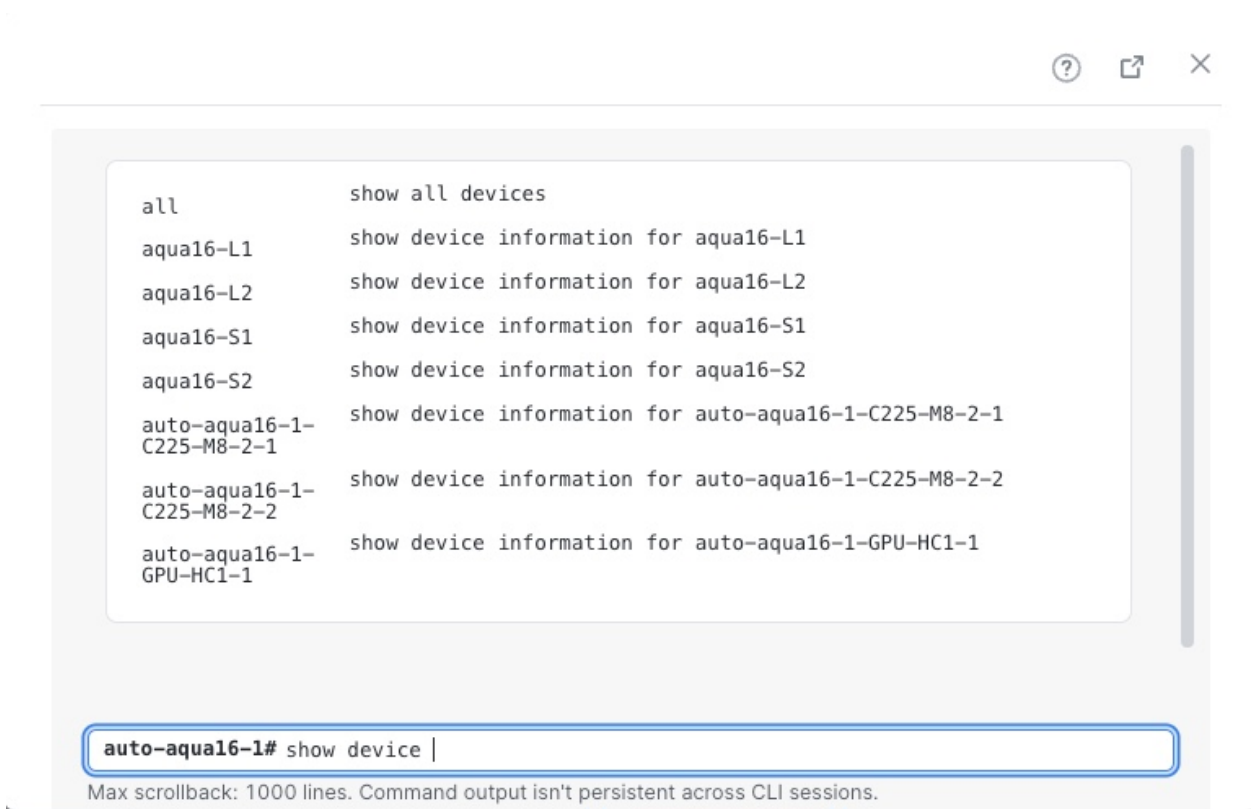


クイックコマンド CLI の使用

ステップ 1 ファブリックを選択して、情報を表示するファブリックを選択します。

ステップ 2 上部のメニューから  を選択します。

ステップ 3 使用可能なコマンド オプションを表示したり、コマンドのオートコンプリートを使用したりするには、[?](#) と入力するか、**Tab** を押します。



ステップ 4 コマンドを入力します。コマンドの詳細については、以下を参照してください：

- [接続テスト コマンド](#)
- [show fabric および device コマンド \(6 ページ\)](#)
- [clear switch data コマンド \(5 ページ\)](#)

ステップ 5 オプションを入力して **Enter** を押し、コマンドを実行します。この例では、Quick Command CLI は以下を表示します。

- aqua2-L2 スイッチのすべてのアサーション、
- 発行されたコマンド、および
- コマンドが実行された時間。

コマンドと結果はコピーできます。

auto-aqua2-1# show device aqua2-L2 assertions all table				Executed at Jul 16, 2026 08:28:59 PM	
type	category	assert_state	modified_at	latched_state	latched
Management port config is same	ASSERT_CATEGORY_DEVICE	asserted	2026-07-16T18:31:37.241012511Z	latched	2026-07-16T10:29:07.53811291
Switch is connected to cloud	ASSERT_CATEGORY_DEVICE	asserted	2026-07-16T18:37:23.932038359Z	latched	2026-07-16T17:35:16.45658375
Switch is connected to the fabric	ASSERT_CATEGORY_DEVICE	asserted	2026-07-16T18:31:37.242941276Z	latched	2026-07-16T17:48:05.75756241
Switch has not exceeded resource utilization...	ASSERT_CATEGORY_DEVICE	asserted	2026-07-16T18:31:37.242952407Z	latched	2026-07-16T17:48:05.75759291
Device fan speed	ASSERT_CATEGORY_DEVICE	not asserted	2026-07-	not latched	1970-01-01T00:00:00Z

auto-aqua2-1#

Max scrollback: 1000 lines. Command output isn't persistent across CLI sessions.

接続テストの実行

接続テストを使用して、スイッチから接続先にトラフィックを送信し、到達可能性を確認するか、パスをトレースします。接続テストを実行できるのは、管理者と読み取り/書き込みユーザーのみです。

テストを実行する前に、次の詳細情報を収集します：

- 実行する接続テストとそのシンタックス。詳細については、[接続テスト コマンド（4 ページ）](#)を参照してください。
- 宛先 IP アドレスまたはホスト名
- オプションとして、送信元インターフェイスおよび VRF 名。

ステップ 1 テストを実行するスイッチのデバイス スコープを入力します。

```
scope leaf-1
```

ステップ 2 宛先への接続テストを実行します。

例：

```
ping 192.168.1.1 vrf Vrf-001 -I Ethernet1_1 -c 5 -w 2
```

ステップ 3 結果を確認し、必要に応じて **Ctrl+C** を押してテストを停止します。

ステップ4 デバイス範囲を終了します。

```
exit
```

接続テストでは、接続先が到達可能かどうかレポートされます。

接続テスト コマンド

次の表で、接続テストについて説明します。

表 1: *ping*、*arping*、*tcping*、*traceroute*、および *tcptraceroute*

タスク	説明	コマンド	例
到達可能性の確認	ICMP パケットを送信して到達可能性を確認します。パケット損失とラウンドトリップ時間を報告します。	<code>ping destination [-I interface] [vrf vrf] [-c count] [-w wait]</code>	<code>ping 192.0.2.10 vrf Vrf-001 -c 5 -w 2</code>
レイヤ 2 の到達可能性を確認します	ARP 要求を送信してレイヤ 2 の到達可能性を確認します。レイヤ 3 の問題を切り分けるのに役立ちます。送信および応答の試行をレポートします。	<code>arping destination [-I interface] [vrf vrf] [-s source] [-c count] [-w wait]</code>	<code>arping 192.0.2.1 -I eth0 vrf Vrf-001 -c 5</code>
TCP 到達可能性のテスト	ICMP がブロックされているときに、接続先とポートへの TCP 接続を確認します。ポートが到達可能かどうかを報告します。	<code>tcping destination port[-I interface] [vrf vrf] [-c count] [-w wait]</code>	<code>tcping 192.0.2.10 443 vrf Vrf-001</code>
パスのトレース	宛先までのルートを追跡します。パス内の各ホップを一覧表示します。	<code>traceroute destination [-I interface] [vrf vrf] [-m max-hops] [-w wait]</code>	<code>traceroute 203.0.113.50 -I lo0 vrf Vrf-001</code>
TCP パスをトレースします	宛先およびポートまでの TCP ルートを追跡します。TCP パスの各ホップを一覧表示します。	<code>tcptraceroute destination [-I interface] [vrf vrf] [-m max-hops] [-w wait]</code>	<code>tcptraceroute 203.0.113.50 vrf Vrf-001</code>

変数の説明：

- *destination* : 接続先の IPv6 または IPv4 アドレス、またはホスト名。
- *port* : TCP ポート番号有効な範囲は 1 ～ 65535 です。
- *interface* : 送信元のインターフェイス名。
- *vrf* : VRF 名。

- **source** : ARP 要求の送信元 IP アドレスまたはホスト名。
- **count** : パケット数または試行の回数。範囲は 1 ～ 1000 です。
- **wait** : 最大待機時間（秒）。値は 1 以上です。
- **max-hops** : 最大ホップ カウント。範囲は 1 ～ 255 です。

clear switch data コマンド

トラブルシューティング中に **clear** コマンドを使用して、選択したスイッチの ARP キャッシュおよび IPv6 NDP キャッシュ、をリセットします。これらのコマンドでは、スイッチを選択するか、または範囲を指定する必要があります。**clear** コマンドを実行できるのは、管理者と読み取り/書き込みユーザーだけです。

特定のホストのエントリをクリアするには、まず ARP または IP ルート テーブルからターゲット IP アドレスを特定します。詳細については、[show fabric および device コマンド（6 ページ）](#) を参照してください。

コマンドの説明

- **clear ip arp** : 選択したスイッチの IP ARP キャッシュをクリアします。
- **clear ip ndp** : 選択したスイッチの IPv6 NDP キャッシュをクリアします。

ステップ 1 スwitchのデバイス範囲を入力します。

```
scope leaf-1
```

ステップ 2 リセットするデータに対して **clear** コマンドを実行します。

```
clear ip arp
```

ステップ 3 デバイス範囲を終了します。

```
exit
```

選択したキャッシュスイッチでクリアされます。クイック コマンド CLI には、スイッチ テレメトリからの更新状態が反映されます。

ファブリックとデバイスのデータを表示する

ファブリック、デバイス、およびスイッチ データを表示するには **show** コマンドを使用します。デバイスを選択した後、スコープ形式で **show** コマンドを実行することも、コマンドパスにセレクトアを含めて完全修飾形式で **show** コマンドを実行することもできます。

実行するコマンドと表示するデータを特定します。詳細については、[show fabric および device コマンド（6 ページ）](#) を参照してください。

ステップ 1 コマンドの実行方法を選択します。

実行する操作	結果
同じデバイスで複数のコマンドを実行する	最初に <code>scope</code> コマンドでデバイスを選択し、 <code>scoped</code> 形式を使用します。
単一のコマンドを実行する	ファブリック、デバイス、サーバ、またはスイッチ セレクタで完全修飾形式を使用します。

ステップ2 コマンドを実行します。完全修飾形式の例

```
show switch leaf-1 ports table
```



表形式の出力の場合、任意のコマンドに `table` を追加します。

(注)

ステップ3 (範囲付きフォームのみ) 完了したらデバイス範囲を終了します。

```
exit
```

クイック コマンド CLI は、要求されたファブリック、デバイス、またはスイッチ データを表示します。

show fabric および device コマンド

次の表に、代表的なコマンドを示します。表示できるデータの範囲を把握するのに役立ちます。すべてを網羅したリストではありません。コマンドの任意の時点で使用可能なオプションを表示するには、**Tab** を押すか、`?`を入力します。表形式の出力の場合、コマンドに `table` を追加します。

表 2: `show` コマンド

データカテゴリ	説明	コマンド例
インベントリ	すべてのファブリック、デバイス、サーバ、およびスイッチを、名前、モデル、ステータスなどのサマリー詳細とともに一覧表示します。	<pre>show fabric all show switch all table show device all table show server all table</pre>
ファブリックの詳細	ファブリックの設定と正常性を、報告された問題に対し推奨される修復アクションを含めて表示します。	<pre>show fabric leaf-fabric info show fabric leaf-fabric remedyAction</pre>
デバイス情報	モデル、シリアル番号、ソフトウェアバージョンなどのデバイスの詳細と、デバイスで実行されているプロセスを表示します。	<pre>show switch leaf-1 info show switch leaf-1 processes table</pre>

データカテゴリ	説明	コマンド例
ポート	デバイス上の単一ポートまたは全ポートのポートの詳細、ブレイクアウト、およびトラフィックカウンタを表示します。	<pre>show switch leaf-1 ports table</pre> <pre>show switch leaf-1 ports eth1/1 counters</pre>
VLAN から VNI へのマッピング	VLAN がデバイスの VNI にどのようにマッピングされるかを示します。	<pre>show switch leaf-1 vlan-to-vni-mapping table</pre>
環境	デバイスのファン、電源、および温度センサーのステータスを表示します。	<pre>show switch leaf-1 environment fan table</pre> <pre>show switch leaf-1 environment power table</pre> <pre>show switch leaf-1 environment temperature table</pre>
BGP	BGP ネイバーの概要、VRF ごとの詳細、ネイバーの詳細、およびネイバーから受信したルートを表示します。	<pre>show switch leaf-1 bgp summary table</pre> <pre>show switch leaf-1 bgp vrf tenant-a</pre> <pre>show switch leaf-1 bgp vrf tenant-a neighbors 192.0.2.5</pre> <pre>show switch leaf-1 bgp vrf tenant-a neighbors 192.0.2.5 received</pre>
QSFP	デバイス上のポートの QSFP デジタルオプティカル モニタリング (DOM) データおよびトランシーバ情報を表示します。	<pre>show switch leaf-1 qsfp dom table</pre> <pre>show switch leaf-1 qsfp info table</pre>
アサーション	デバイスがファブリックおよびクラウドに接続されているかどうかなど、デバイス アサーションを表示します。	<pre>show switch leaf-1 assertions all table</pre> <pre>show switch leaf-1 assertions connected-to-fabric</pre> <pre>show switch leaf-1 assertions connected-to-cloud</pre>



(注)

ファブリック名、スイッチ名、ポート、VRF、ネイバーなどの値は、指定する値、またはコマンド補完で選択する値です。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。